

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【公開番号】特開 2019-1799 (P2019-1799A)

【公開日】平成 31 年 1 月 10 日 (2019.1.10)

【年通号数】公開・登録公報 2019-001

【出願番号】特願 2018-150254 (P2018-150254)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 17/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 2 3 L 29/00 (2016.01)

【F I】

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 47/36

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 17/00

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 Q 5/00

A 2 3 L 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 12 日 (2019.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水性又はアルコール系調合物のレオロジー挙動を変化させる方法であって、前記調合物に単分散グリコーゲンナノ粒子又は単分散フィトグリコーゲンナノ粒子の組成物を添加する工程を含むことを特徴とする、方法。

【請求項 2】

前記調合物が、少なくとも 1 種の小分子、ポリマー、バイオポリマー、コロイド粒子又は油の、分散物又は溶液である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記調合物が、アルコール系調合物であり、前記アルコールが、エチルアルコール、プロピルアルコール、イソプロピルアルコール、エチレングリコール、プロピレングリコール、ブチレングリコール、ジプロピレングリコール、エトキシジグリコール、グリセロール又はこれらの組み合わせである、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記組成物の少なくとも80乾燥質量%が、30nm～150nmの平均粒径を有する単分散グリコーゲンナノ粒子又は単分散フィトグリコーゲンナノ粒子である、請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記単分散グリコーゲンナノ粒子又は前記単分散フィトグリコーゲンナノ粒子が、化学的に改質されている、請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

前記単分散グリコーゲンナノ粒子又は前記単分散フィトグリコーゲンナノ粒子が、そのヒドロキシル基の少なくとも1つを、カルボニル基、アミン基、チオール基、カルボン酸基又はヒドロカルビル基で化学的官能化することにより化学的に改質されており、前記ヒドロカルビル基が、任意でアルキル、ビニル又はアリル基である、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記調合物が、天然ガムを含む、請求項1～6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】

前記調合物が、食品、化粧品、パーソナルケア製品、機能性食品、医薬品、ローション、ゲル、塗料、被覆剤、インク、潤滑剤、賦形剤、表面皮膜、安定剤又は掘穿泥水である、請求項1～7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

単分散グリコーゲンナノ粒子又は単分散フィトグリコーゲンナノ粒子を含む、水性又はアルコール系調合物のレオロジー挙動を改質するため添加剤。

【請求項10】

前記添加剤の少なくとも90乾燥質量%が、30nm～150nmの平均粒径を有する単分散グリコーゲンナノ粒子又は単分散フィトグリコーゲンナノ粒子である、請求項9に記載の添加剤。

【請求項11】

前記単分散グリコーゲンナノ粒子又は前記単分散フィトグリコーゲンナノ粒子が、化学的に改質されている、請求項9又は10に記載の添加剤。

【請求項12】

前記単分散グリコーゲンナノ粒子又は前記単分散フィトグリコーゲンナノ粒子が、そのヒドロキシル基の少なくとも1つをカルボニル基、アミン基、チオール基、カルボン酸基又はヒドロカルビル基で化学的官能化することにより化学的に改質されており、任意で、前記ヒドロカルビル基が、アルキル、ビニル又はアリル基である、請求項11に記載の添加剤。

【請求項13】

粉末、液体又はゲルの形態である、請求項10～12のいずれか一項に記載の添加剤。

【請求項14】

請求項9～11のいずれか一項に記載の添加剤と水性又はアルコール系調合物とを含む組成物であって、前記水性又はアルコール系調合物が、少なくとも1種の小分子、ポリマー、バイオポリマー、コロイド粒子又は油の、溶液又は分散物であり、前記組成物が、前記添加剤を含有しない同じ組成物と比較して、強いチキソトロピー特性を有するか、又は、前記組成物が、前記添加剤を含有しない同じ組成物と比較して、チキソ性であり、且つ増加した復元時間を有することを特徴とする、組成物。

【請求項15】

前記組成物が、アルコール系調合物であり、前記アルコールが、エチルアルコール、プロピルアルコール、イソプロピルアルコール、エチレングリコール、プロピレングリコール、ブチレングリコール、ジプロピレングリコール、エトキシジグリコール、グリセロール又はこれらの組み合わせである、請求項14に記載の組成物。

【請求項16】

前記添加剤が、前記組成物の5～25質量/質量%を構成する、請求項14又は15に

記載の組成物。

【請求項 17】

前記組成物が、天然ガムを含む、請求項 14～16 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 18】

前記組成物が、食品、化粧料、パーソナルケア製品、機能性食品、医薬品、ローション、ゲル、塗料、被覆剤、インク、潤滑剤、賦形剤、表面皮膜、安定剤又は掘穿泥水である、請求項 14～17 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 19】

前記組成物が、スプレー式化粧料、スプレー式日焼け止め、ヘアスプレー、スプレー式デオドラント剤、スプレー式制汗剤、スプレー式アフターシェーブローション又はスプレー式手指消毒剤から選択されるパーソナルケア製品である、請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記調合物に単分散グリコーゲンナノ粒子又は単分散フィトグリコーゲンナノ粒子の組成物を添加する工程が、前記水性又はアルコール系調合物を安定化する、又は、前記水性又はアルコール系調合物における有機化合物の光安定性を上昇させる、請求項 1 に記載の方法。